

青森県市町村発・元気なあおもりづくり支援事業報告

[平成18年度実施]

事業名	野球場スコアボード改修・スポーツトラクター購入		
事業目的	<p>本村においては、人口減少、少子高齢化等による過疎化が進行しており、周辺地域との交流の拡大を通じた村の活性化を図っていくことが、地域づくりにおける重要な課題となっている。このため、平成2年から「玉松園カントリーパーク」として、村の観光・物産、歴史、スポーツ等の資源（集中地域）となっている玉松海水浴場、玉松台、古城の沼緑地、玉松台スポーツガーデン一帯の整備を進め、住民の協力のもとに植栽などの環境づくりや各種スポーツ大会の開催などパークを拠点とする村内外の交流を図り、村の活性化に取り組んできている。</p> <p>特に、玉松台スポーツガーデンは、野球場、テニスコート、ゲートボール場などを備え村民、周辺地域はもとより、県内の中学、高校等の競技会場としても活用されており、年間の利用者数は村の人口の2倍弱に当たる約6千人もあり、村の活性化と広域的なスポーツ振興に大きく貢献している。しかし、建設後13年を経過し、設備の老朽化による誤作動や故障などが頻発しており、財政状況が厳しさを増すなか、利用者サービスを維持することさえままならない状況にある。</p> <p>しかしながら、本年度（平成18年度）は県営野球場改修のため、硬式高校野球春季地区大会及び秋季青森地区大会会場にもなっており、本村には高校はないが、高校野球の舞台として青少年の心身の育成に重要な役割を担うことから、財政状況の厳しいなかにおいても全面的に協力することとし、村の緊急かつ最優先の課題として、県の支援事業を活用し、球場設備等の改修を行うことにしたものである。</p> <p>これにより、青少年の育成や広く県民のスポーツに親しむ環境づくりに大きく貢献し、スポーツを通じた交流の拡大を図り、玉松園カントリーパークを拠点とする村の活性化を目指すことを目的とした。</p>		
事業内容	<p>（1）野球場スコアボード改修 老朽化したスコアボードの誤動作を解消するため、操作の通信系統を無線系から有線系に変更することとし、これに要する操作盤等機器及び配線の工事を行った。</p> <p>（2）スポーツトラクター購入 野球場をはじめ、玉松園カントリーパーク一帯及び村内公共施設内の整地や芝刈り等のためのスポーツトラクターを購入した。</p> <p>（3）利活用促進対策 本事業を契機として玉松園カントリーパークの利活用促進を図るため、玉松台スポーツガーデンをはじめとする各施設の案内について、村のホームページ等で情報発信を実施。</p>		
総事業費及び補助金額	総事業費 3,822千円	補助金（青森県） 2,548千円	自主財源（蓬田村） 1,274千円

自己評価等

自己評価 期待以上の成果があったと認められる。

評価理由

玉松園カントリーパーク一帯には、県営球場より広い両翼97mの野球場、テニスコート、ゲートボール場などのスポーツ施設や海水浴場、松と芝が美しい玉松台（公園）、よもぎ温泉や物産館マルシェなど村の施設や観光資源が集中している。また、財政状況が厳しさを増してはいるが、国道280号線バイパス開通で青森市とのアクセスが飛躍的に向上したことから、当パーク一帯を中心に村の活性化を図っていくことが課題となっていた。そんな中、本年度（平成18年度）は県営野球場改修のため、硬式高校野球春季地区大会及び秋季青森地区大会会場になった。本村には高校はないが、村の野球場が高校球児の夢と青春の舞台として青少年の心身の育成に重要な役割を担うものであることを考え、財政状況の厳しいなかにおいても、村として全面的に協力することとし、村の緊急かつ最優先の課題として取り組んだ。これにより、青少年の育成や広く県民のスポーツに親しむ環境づくりに大きく貢献し、スポーツを通じた交流の拡大を図り、玉松園カントリーパークを拠点とする村の活性化に成果を上げている。

また、これを契機として、これまで不活性であった利活用促進対策についても、ホームページ等を活用して情報発信に努めるなど積極的に取り組み、さらなる交流の拡大を図っていくものである。

写 真

